

**製品名: BACH1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07421**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BACH1
別名	BACH1; Transcription regulator protein BACH1; BTB and CNC homolog 1; HA2303
遺伝子 ID	571.0
SwissProt ID	O14867
免疫原	抗血清はヒト BACH1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

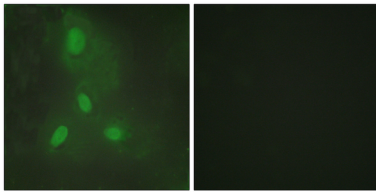
**背景**

この遺伝子は、キャップアンドカラー型塩基領域ロイシンジッパー因子ファミリー（CNC-bZip）に属する転写因子をコードしています。コードされているタンパク質は、CNC-bZip ファミリーメンバーとしては異例な、ブロード複合体、トラムトラック、ブリッ

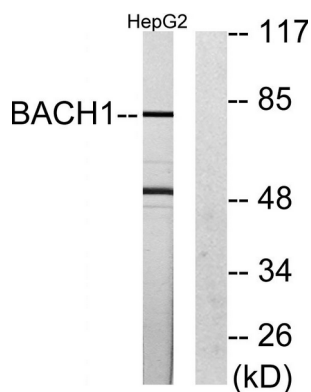
ク・ア・ブラック/ボックスウイルス、ジンクフィンガー (BTB/POZ) ドメインを有しています。これらの BTB/POZ ドメインは、タンパク質間相互作用とホモオリゴマーおよび / またはヘテロオリゴマーの形成を促進します。コードされているタンパク質が MafK とヘテロダイマーを形成すると、Maf 認識エレメント (MARE) のリプレッサーとして機能し、転写が抑制されます。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2009 年 5 月]、機能: リプレッサーまたはアクチベーターとして機能する転写調節因子。in vitro で NF-E2 結合部位に結合します。MAFK による転写活性化と抑制の調整に重要な役割を果たす。類似性:bZIP ファミリーに属する。類似性:bZIP ファミリーに属する。CNC サブファミリー。類似性:1 つの BTB (POZ) ドメインを含む。類似性:1 つの bZIP ドメインを含む。、

## 研究分野

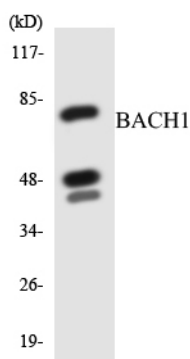
## 画像データ



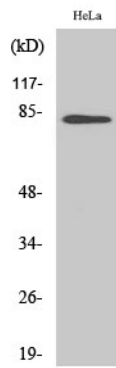
BACH1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



BACH1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



BACH1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



BACH1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析